

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 平成29年度 第3回契約監視委員会議事概要

1. 日時

平成30年6月1日（金） 15:00～16:50

2. 場所

日本医療研究開発機構 21階 会議室216

3. 出席者

井上委員長、中原委員、橋本委員、間島委員、室伏委員

4. 説明者

経理部長、経理部契約調整グループ長及び各契約担当者、調達要求部署担当者

5. 議事概要

契約監視委員会規則第5条第2項の規定による構成委員の2分の1以上（5名中5名）の出席を得ており、本委員会は成立していることを確認した。

議事（1）前回の指摘事項に係る状況報告について

前回の委員会で委員よりコメントがあった事項について経理部より状況報告があった。委員からは、システム開発業務発注の際の検証プロセスの検討結果については、次回以降進捗を報告してほしいとのコメントがあった。

議事（2）個別契約案件の審議について

選定基準に基づき選定された一般競争契約のうち一者応札の契約2件について点検を行った。契約の妥当性等に関しては特段の問題点の指摘はなかったが、以下のようなコメントがあった。

- ① IT系のシステムの調達仕様の要件決定に当たっては、一者応札にならないよう工夫することが望ましい。
- ② 新規事業に必要な業務の発注は、業務開始時期に合わせて早めに検討することが望ましい。

議事（3）調達等合理化計画の策定及び自己評価について

平成29年度調達等合理化計画の自己評価結果及び平成30年度調達等合理化計画案について経理部より説明があり、特段の問題点の指摘はなかったが、以下のようなコメントがあった。

一者応札の改善に向けて、よりオープンな仕様内容への改善を目指すこと、及び、他の公的機関におけるベストプラクティスを学んで機構に取り入れていくことを計画に織り込むことができた点が、前回の計画と比較して進歩しているポイントだと思う。引き続き調達を合理化していく意味で、このようなポイントを探し出すよう努力していくことが望ましい。

6. その他

次回の委員会は、平成30年12月7日（金）開催予定。